

# 川越市の交通政策に関する取組紹介

---

# 令和5年度 川越市交通シンポジウムの開催概要

【日 時】 令和6年1月26日（金） 18時00分～20時30分  
 【場 所】 川越市 やまぶき会館ホール  
 【プログラム】  
 基調講演：「人中心」の道路・交通政策への大転換について  
 川越市の取組報告  
 地域における交通政策の取組紹介  
 1. 「歩くまち・京都」と観光交通対策について  
 2. 出雲大社 神門通り整備について  
 3. 官民連携によるまちづくりと歩きやすい「駅前通り」  
 パネルディスカッション



【日 時】 令和6年1月26日 18:00～20:30  
 【場 所】 やまぶき会館ホール  
 【定 員】 先着 200名  
 【基調講演】 「人中心」の道路・交通政策への大転換について 埼玉大学大学院教授 久保田 尚 氏  
 【地域における交通政策の取組紹介】  
 1. 「歩くまち・京都」と観光交通対策について (京都市) 京都市都市計画局 歩くまち京都推進室長 大野 將志 氏  
 2. 出雲大社 神門通り整備について (島根県・出雲市) 中電技術コンサルタント㈱ 山脇 隆志 氏  
 3. 官民連携によるまちづくりと歩きやすい「駅前通り」 (朝霞市) あさかエリアデザイン会議副会長 ダマヤ・カンパニー代表取締役 木本 孝広 氏  
 【主催】 川越市  
 【後援】 国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所 埼玉県県土整備部川越県土整備事務所  
 【事務局】 川越市 都市計画部交通政策課 (電話049-224-5519)

講演・先進事例報告の概要  
 交通対策の専門家として、本市を始め、全国各地の交通問題に取り組んできた久保田氏に、交通に関する最新の動向や取組事例等について紹介いただくとともに、各地域で交通問題に取り組む地域や行政の方より、取組の経緯や内容、効果等についてご説明をいただきます。  
 パネルディスカッションの概要  
 交通対策の専門家や観光交通問題に取り組む実践者の視点から、一番街周辺における交通のあり方、住民と観光客が安心して過ごせる地域づくりについて意見交換を行います。

Profile 基調講演講師・先進自治体紹介

埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基礎部門教授。埼玉県移動性向上委員会では委員として役員を務めています。専門は、都市交通計画・地区交通計画。主な著書に「歴史を未来につなぐまちづくり・まちづくり」「設計新編 読んで学ぶ交通工学・交通計画」ほか多数。

埼玉大学大学院教授 久保田 尚 氏

島根県では、出雲大社門前「神門通り」整備に当たり、出雲市と連携のうえ、ワークショップを開催し、住民との合意形成や協力を得ながら、歩行者と自動車共存し合う「シェアード・スペース」の考えのもと、生活交通と密着しながら、歩行空間を確保する道路整備を実施しています。

島根県・出雲市

京都市では、人と公共交通の「歩いて楽しむまち」の実現を目標とし、「歩くまち・京都」憲章を定め、各種施策を進めています。秋の観光シーズンにおいては、道路情報の発信、臨時の交通規制対策、パーク＆ライドの推進等、様々な観光交通対策に取り組んでいます。

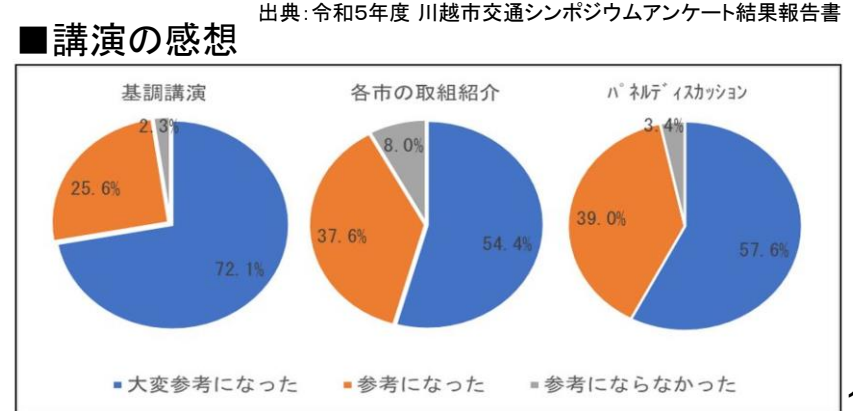
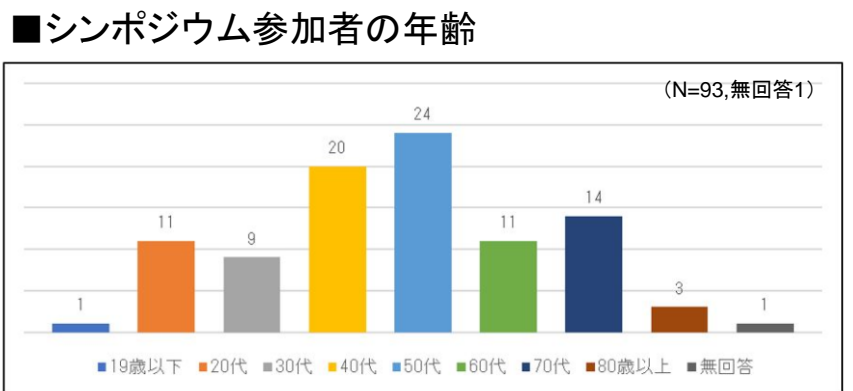
京都市

朝霞市では、令和4年度に官民で組織するあさかエリアデザイン会議を設置し、地域と行政が一体となって朝霞駅周辺のエリアマネジメントを検討・推進するとともに、歩きやすい「駅前通り」を考えるワークショップ及び駅周辺実地を踏まえ、朝霞駅前口駅前通りのウォークアブル化・交通安全対策の検討に取り組んでいます。

朝霞市

会場 「やまぶき会館」 川越市駅前1-18-1  
 ○ 京川路線・電武東上線 川越駅東口徒歩 (11・2・4・5・9番乗り場「一番街」) 下車徒歩約5分 / 7番乗り場「大手町」下車徒歩約3分 (川越シャトルバス乗り場 (川越メイン北側) 32系統「やまぶき会館」) 徒歩約5分  
 ○ 西武新幹線 本川越駅下車 (5番乗り場「一番街」) 下車徒歩約5分または「大手町」下車徒歩約3分

Program Map



# 令和5年度 川越市交通シンポジウムの開催概要

- 講師および先進自治体から様々な事例が紹介された。
- 今後は、川越市北部市街地の交通のあり方について、地域住民や関係者と協議・検討していく予定。

プログラム		講演要旨
基調講演 「人中心」の道路・交通政策への大転換について		中心市街地に車両を流入させない国内外の事例や、観光客に一定の負担を求め地域に還元する駐車場税等の事例を紹介するとともに、「人中心」の道路・交通政策への転換に係る国や全国自治体の動き、住民と合意形成を図りながら一方通行化、歩行者専用化を進めてきた氷川参道の取組、歩行空間の拡大、ほこみち制度の活用を図る仙台、定禅寺通りの取組等について紹介いただいた。
川越市の取組報告		北部市街地交通対策の経緯とこれまでの市の取組、及び一番街の現状を踏まえた市の考えと今後の取組に関する方向性について説明を行った。
地域における交通対策の取組紹介	「歩くまち・京都」と観光交通対策について	京都市では、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を目指し、「歩くまち・京都」憲章を定め、市民等への周知・啓発を図るとともに、当該憲章に基づき各種施策を進めている。具体的な取組として、秋の観光シーズンに限定し、交通規制等を行う「観光地交通対策」や、車道を4車線から2車線に削減し、歩行空間を拡幅した「四条通歩道拡幅事業」、京都駅への一極集中や自動車の流入抑制対策について紹介いただいた。
	出雲大社 神門通り整備について	出雲市では、出雲大社門前の観光スポットであり、幹線道路にもなっている「神門通り」について、住民参加によるワークショップを開催し、地域の合意形成と協力を得ながら、歩車共存による「シェアド・スペース」の考えに基づき整備を行った。生活交通に配慮しながら、歩行空間を確保する「シェアド・スペース」の概要や地域との合意形成のポイントについて紹介いただいた。
	官民連携によるまちづくりと歩きやすい「駅前通り」	朝霞市では、民間主体で「ASA KA S TREET TER RACE」等のイベントを実施してきた中で、令和4年度より、官民連携組織「あさかエリアデザイン会議」を設置し、エリアビジョンの策定や駅前通りの一方通行化等、官民連携によるまちづくりを進めている。官民連携によるまちづくりの意味、また、実施に当たったのポイント等について紹介いただいた。
パネルディスカッション これからの一番街周辺の交通対策に向けて		一番街の感想や各市の取組におけるポイント、そこから挙げられる川越市への助言等について意見交換を行った。

出典:川越市ホームページ  
(令和5年度川越市交通シンポジウムについて)

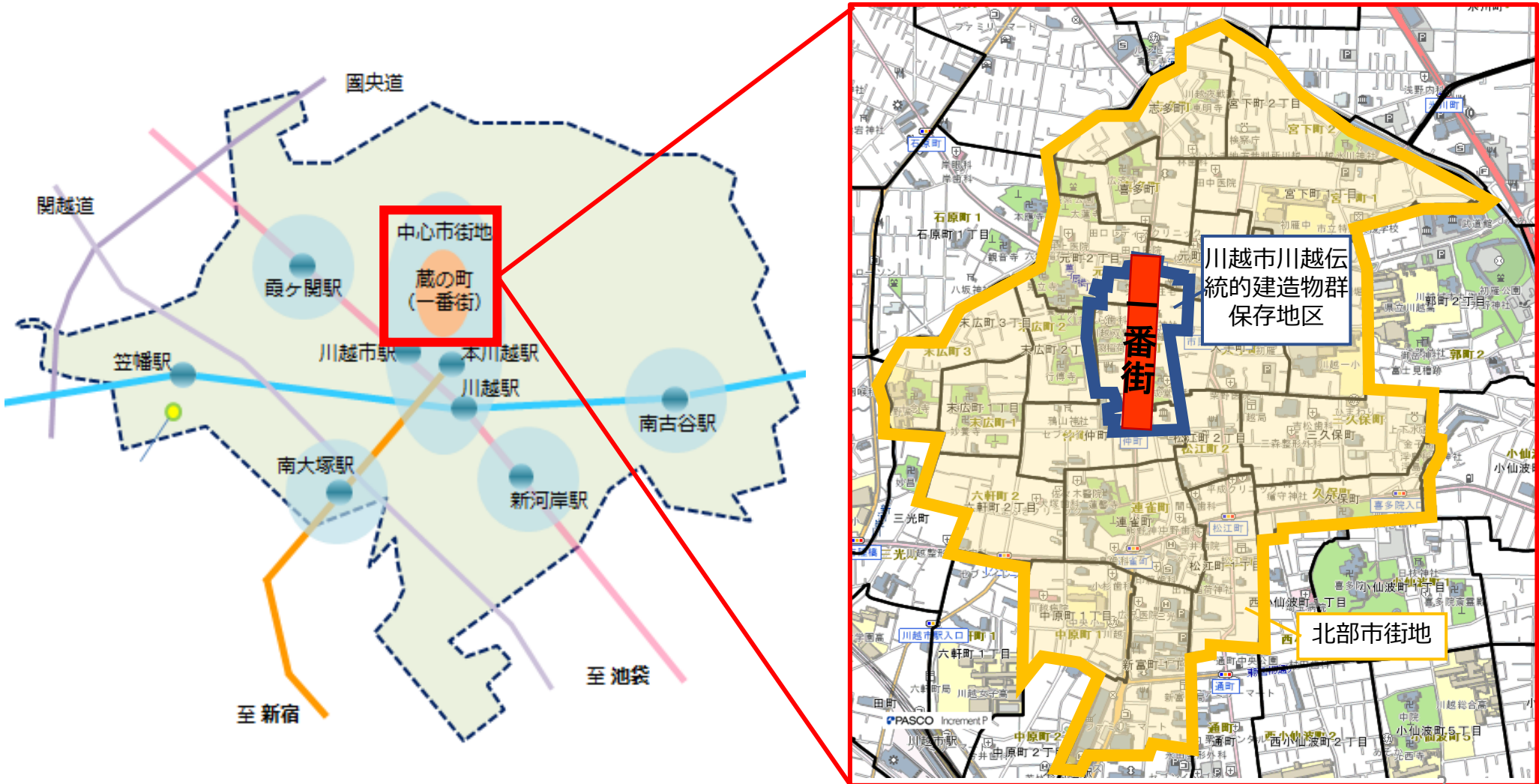
# 北部市街地交通対策における 川越市の取組について



# 北部市街地の位置

## 北部市街地とは

川越市川越伝統的建造物群保存地区を中心に、その周辺部を含む地域内を指します



# 北部市街地交通対策の経緯

## 交通対策の主な経緯

### 平成11年 一番街の都市計画変更及び伝建地区指定

- ・ 札の辻交差点から仲町交差点まで（約400m）の計画幅員を現況幅に縮小
- ・ 一番街周辺約7.8haを伝統的建造物保存地区に指定

### 平成19年 北部中心市街地交通円滑化方策検討委員会設置

目的：北部市街地内の交通円滑化及び安全な交通環境実現に係る改善方策の検討

構成：周辺21自治会の各代表者・学識経験者・関係機関や団体及びバス事業者・川越市

### 平成21年 川越・一番街周辺交通社会実験の実施

実施期間：平成21年11月7日(土)～23日(月)（17日間）

実施範囲：札の辻交差点から仲町交差点まで（約400m）

実施内容：南行き一方通行

※ただし、11月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、23日(月祝)の5日間は午前10時から午後4時までを車両通行止め

# 北部市街地交通対策の経緯

## 交通対策の主な経緯

### 平成23年 検討委員会からの提言書提出

#### ○提言内容

##### (交通規制)

一番街を終日北から南への一方通行とし、春季及び秋季における一定の日曜・祝日の日中を歩行者天国にする

##### (交通規制と一体とした取組)

#### 1. 交通渋滞対策

ハード対策：北環状線整備、都市計画道路（中央通り・市内循環線）整備、交差点改良

ソフト対策：パーク&ライド、通過交通や送迎バスの迂回誘導、レンタサイクル 等

#### 2. 安全確保

歩行者の乱横断対策、通学路の安全対策、周辺道路の交通規制検討や歩行者の安全確保 等

#### 3. 観光対策

観光バスの路上乗降防止指導、観光客のマナー向上 等

### 平成23年 市が今後の方針を公表

提言内容：市として尊重

一方通行等：即時実施はせず、交通量の緩和策等に取り組みながら段階的に進める

### 平成24年 北部市街地自治会交通対策連絡協議会を設置

目的：北部市街地内の交通問題解決のため、地域と市が連携して対策協議・実施要望等を行うこと

構成：周辺21自治会の各代表者・川越市

# 提言後の主な取組


## ソフト対策

**【H31事業完了】**  
**北環状線新設 (県)**  
 (福田交差点～  
 今成交差点約4.4km)

**■北環状線新設の効果**  
 新設前に実施した交通調査 (H30) に比べ、北部市街地の主要な4交差点について以下3点の効果を確認した。

- ① **交通量の減少**  
 (一番街で約9%減少)
- ② **渋滞長の減少**  
 (松江町で最大300m程度が解消)
- ③ **移動時間の短縮**  
 (市役所前→松江町で最大8分程度短縮)


**【H24・25実施】**  
**送迎バス事業者への迂回誘導依頼**



**【H25導入完了】**  
**自転車シェアリング**  
 ※H31～ステーション拡大  
 R4年度利用回数  
 175,952回



**【H28事業完了】**  
**ゾーン30対策**  
 宮下町周辺  
 郭町周辺  
 仲町周辺 等




**【H28事業完了】**  
**大型貨物自動車迂回誘導等看板の設置**



**観光マナーの周知啓発**  
 配付物・HP・掲示物等による周知啓発、パトロール実施、バス会社への依頼等

**【H22～事業中】**  
**市内循環線 (宮下町)**

**【H29事業完了】**  
**郊外型駐車場 拡張 (約80台)**



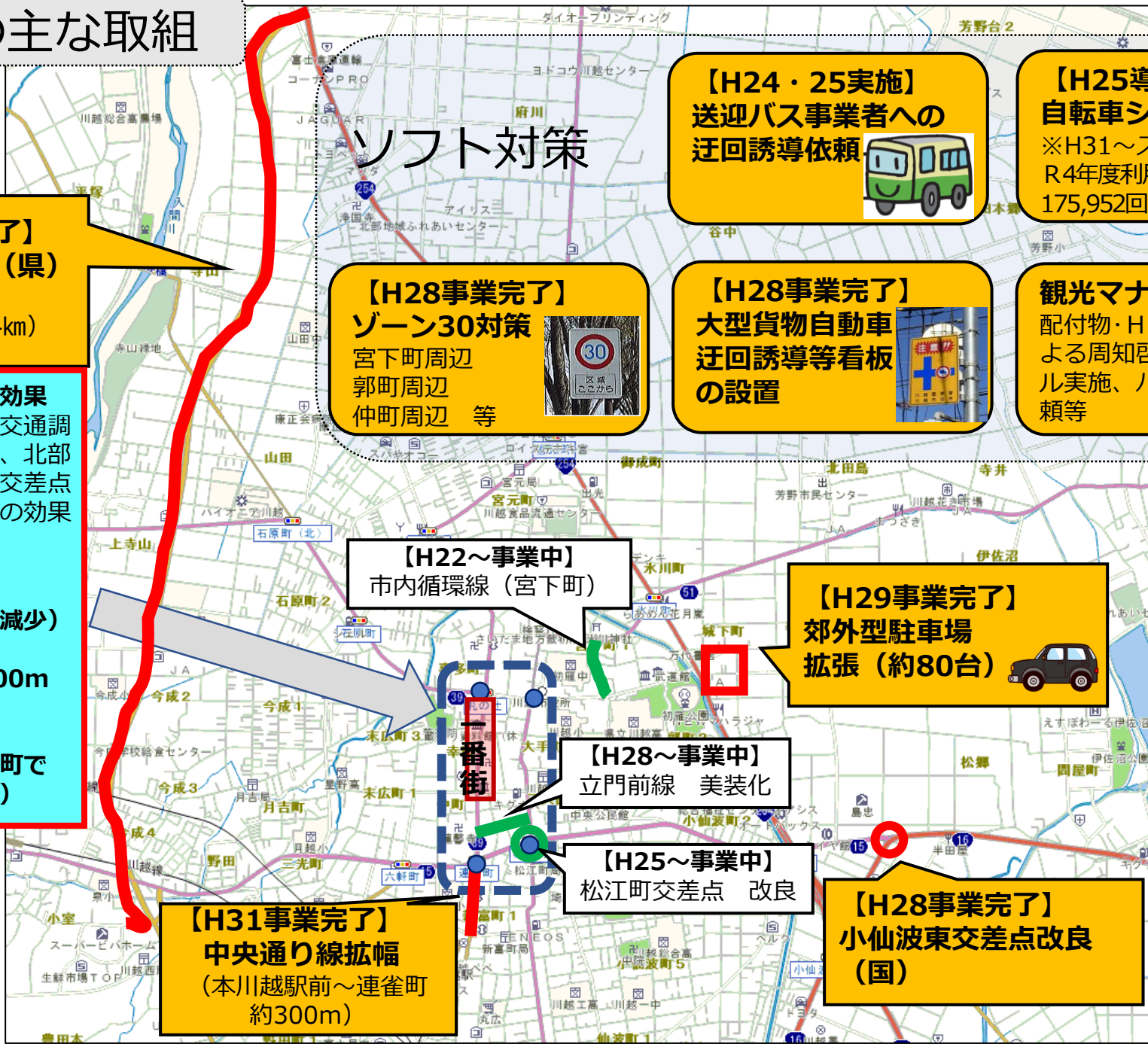
**【H28～事業中】**  
**立門前線 美装化**

**【H25～事業中】**  
**松江町交差点 改良**

**【H31事業完了】**  
**中央通り線拡幅**  
 (本川越駅前～連雀町  
 約300m)

**【H28事業完了】**  
**小仙波東交差点改良 (国)**

オレンジ色は事業完了





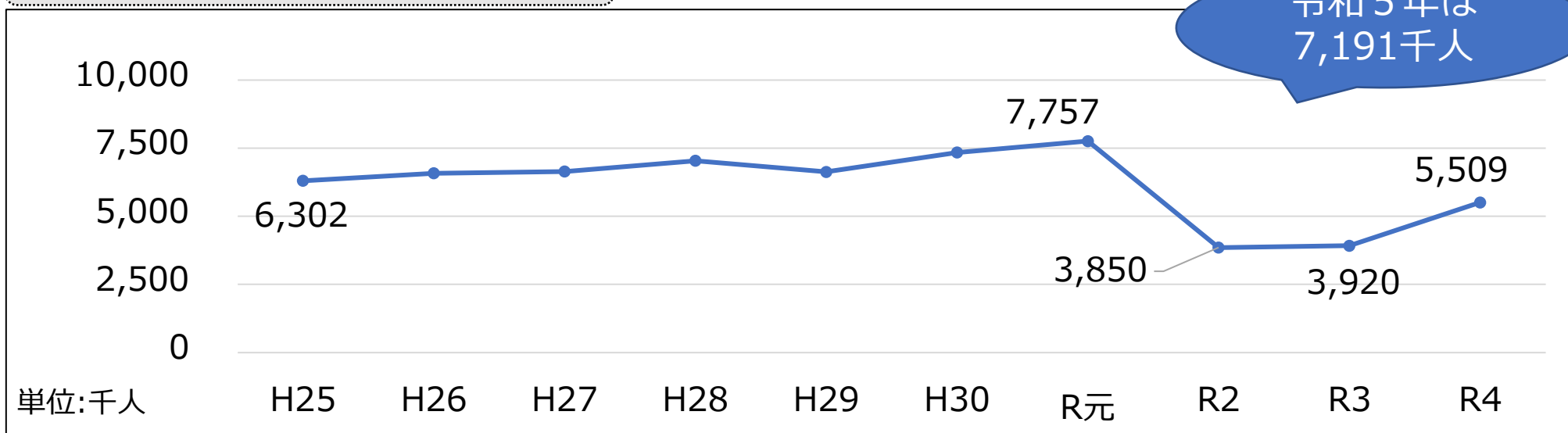
# 北部市街地交通対策の経緯

## 提言後の主な取組

提言内容	主な取組状況
交通規制	連絡協議会への交通対策案の提案（H29・R元）とアンケートの実施（R元）
北環状線整備（県）	福田交差点～今成交差点まで（約4.4km）の4車線化工事（H31完了）
中央通り線整備	本川越駅交差点～連雀町交差点まで（約300m）の拡幅工事（H31完了）
交差点改良	松江町交差点：事業中(一部用地取得) 小仙波東交差点：H28完了（国）
パーク＆ライド	郊外型駐車場の拡張（H29完了）等
通過交通や送迎バスの迂回誘導	送迎バス事業者への迂回依頼（H24・H25） 大型貨物自動車迂回誘導看板設置（H28完了）
レンタサイクル	シェアサイクルの導入・拡充（H25～）
通学路や周辺道路の安全対策等	ゾーン30の設置（H28完了）
観光客のマナー向上	配付物・HP・掲示物等による周知啓発、パトロール実施、バス会社への依頼等

# 一番街周辺の現状

## 市内入込観光客数の推移



## GW中の一番街の状況

(令和5年5月3日 一番街で撮影)



# 今後の取組について

## 基本的な考え

本市最大の観光拠点

生活交通の場



歩行者と自動車の錯綜



「安全安心」な歩行環境の確保  
生活交通・生活環境の保全



# 今後の取組について

## 今後の取組に関する方向性

### 歩行者の安全対策

- ・ 市民参加のもと、市・関係機関等が連携した協議・検討体制を構築し、適切な交通規制等のあり方について検討していきます。

### 観光・交通円滑化対策

- ・ 観光客の分散化  
(多様な観光拠点への誘客促進、シェアサイクルの拡充等)
- ・ 中心市街地への自動車の流入抑制及び交通渋滞対策  
(北環状線整備、交差点改良、パーク&ライド、交通情報等の発信等)
- ・ 歩行者の滞留改善 (行列対策、違法看板指導、オープンスペースの活用等)
- ・ 観光客に対するマナー周知・啓発

